



<報道関係各位>

2022年4月15日
株式会社 QPS 研究所

QPS 研究所の高解像度 SAR 衛星画像が Dragon Ash の新曲「Tiny World」の 配信ジャケットに採用されました

世界トップレベルの小型 SAR（合成開口レーダー）衛星の開発・運用を行う株式会社 QPS 研究所（福岡県中央区、代表取締役社長 CEO：大西俊輔、以下 QPS 研究所）の衛星画像が、4月20日（水）より配信される Dragon Ash の新曲「Tiny World」の配信ジャケットデザインに採用されました。

選ばれたのは QPS 研究所の小型 SAR 衛星 2 号機「イザナミ」が取得した東京のビル群の衛星画像です。2021 年 5 月に公表した国内最高精細・高解像度（※1）の SAR 画像に Dragon Ash メンバーが興味を持っていただいたことでこの話の実現いたしました。今回の楽曲は 4 月 15 日（金）から放送が始まった TBS 系ドラマ「インビジブル」の主題歌に起用されていて、詳細はビクターエンタテインメントの HP にてご確認いただけます。

（HP URL：<https://www.jvcmusic.co.jp/dragonash/25th/>）





SAR とは地表面に斜めに電波を照射して、その反射を受信することで地表を観測するレーダーで、雲や噴煙を透過し、昼夜を問わずデータを取得することができる点が特長です。取得したデータを画像化すると、今回採用された画像のようにモノクロで立体的なものとなり、視覚的に地表の様子を知ることができます。また、このデータからは目に見えるもの以外にも様々な情報を得られます。例えば、同じ地点を複数回観測することで、広範囲に渡って数ミリ単位で地表面や建築物の変化を調べることができるため、インフラ劣化の検知やインフラ管理等、安全・安心な街づくりに活かすことができます。このデータは災害対策をはじめ、効率的な経済活動のためにも役立てることができ、未来を大きく変える力を持っていると期待されています。QPS 研究所はこの衛星を 36 機打ち上げてコンステレーションを構築し、世界中のほぼどこでも任意の場所を平均 10 分間隔という準リアルタイム地上観測データサービスの提供を目指しています。

(※1) 民間の 100kg 級小型 SAR 衛星においてを意味します。

■Dragon Ash

1997 年デビュー。あらゆるジャンルを驚異的なスピードで横断し、これからも Dragon Ash としか表現しようのない音を鳴らし続ける。常にオルタナティブな道を自ら選びながらも、圧倒的なファンの支持を得続ける日本の音楽シーンを代表するモンスターバンド。



「Tiny World」

2022 年 4 月 20 日配信リリース

配信に関する情報：

<https://www.jvcmusic.co.jp/dragonash/25th/>



■代表取締役社長 CEO 大西俊輔コメント

「今回、Dragon Ash 様の配信ジャケットに弊社衛星画像をご採用いただきお話をいただき、大変驚きましたが、このような形で衛星画像にご注目いただけたことを嬉しく思っています。この画像データの使い道には多くの可能性があり、SAR の技術や画像について多くの方々に知っていただくことで、社会の発展や人類の生活の向上に貢献できる新しい活用方法が見出されることを願っています。」

■株式会社 QPS 研究所について

QPS 研究所は 2005 年に福岡で創業された宇宙開発ベンチャー企業です。名前の QPS とは「Q-shu Pioneers of Space」の頭文字を取っており、九州宇宙産業の開拓者となること、



更には九州の地より日本ならびに世界の宇宙産業の発展に貢献するとの思いが込められています。その名の通り、九州大学での小型人工衛星開発の 20 年以上の技術をベースに、国内外で衛星開発やスペースデブリへの取り組みに携わってきたパイオニア的存在である名誉教授陣と若手技術者・実業家が一緒になって、宇宙技術開発を行っています。また、QPS 研究所の事業は、創業者たちが宇宙技術を伝承し育成してきた約 20 社の九州の地場企業に力強く支えられています。

プレス関係の方のお問い合わせ先
株式会社QPS研究所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル 6階
担当名：有吉 Email: y.ariyoshi@i-qps.com